

子供服の安全性に関する JIS

平成 27 年 12 月、子供服を製造する際のひもに関する JIS（日本工業規格）「子ども用衣料の安全性 - 子ども用衣料に附属するひもの要求事項（JIS L4129）」が制定されました。

このような安全性に関する規格が制定された背景には、子供の痛ましい事故が起こっていたということを理解し、子供服を購入したり着させたりする際には「この服は子供にとって安全なのか？」をよく考えて選びましょう。

子供服の安全性への取組み（JIS 規格化まで）

- 平成 18 年度 東京都商品等安全対策協議会「子ども用衣類の安全確保について」
国や業界団体に要望
- 平成 24 年度 経済産業省「子ども服の安全性に関する国際標準化先導調査」を実施
- 平成 25 年度 JIS 規格原案作成委員会で JIS 案検討
- 平成 26 年度 6 月 JIS 案公表
- 平成 27 年度 12 月 JIS L 4129
「子ども用衣料の安全性 - 子ども用衣料に附属するひもの要求事項」制定

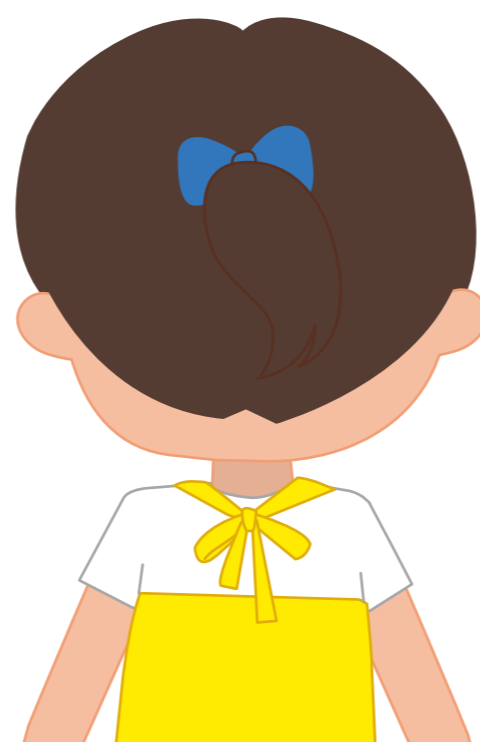
JIS L4129 で規定するひもの規定事項例

（13歳未満が着用する子供服が対象）

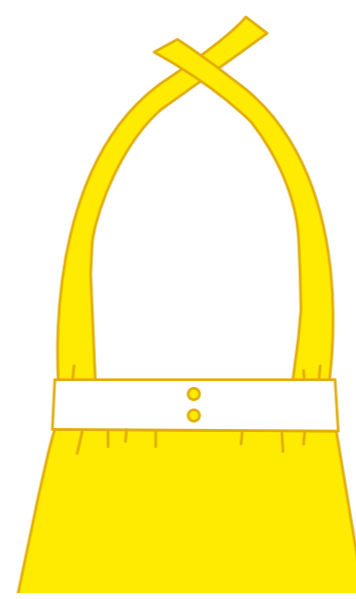
【頭、及び首まわりのひも】 垂れ下がっているひもがあってはならない。



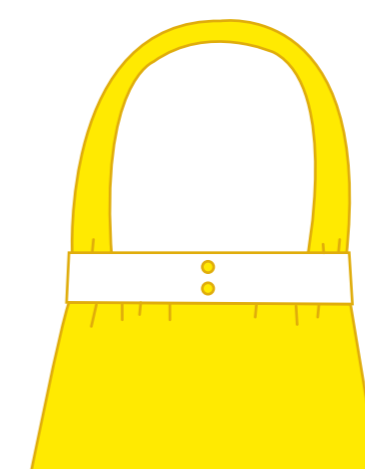
×



×



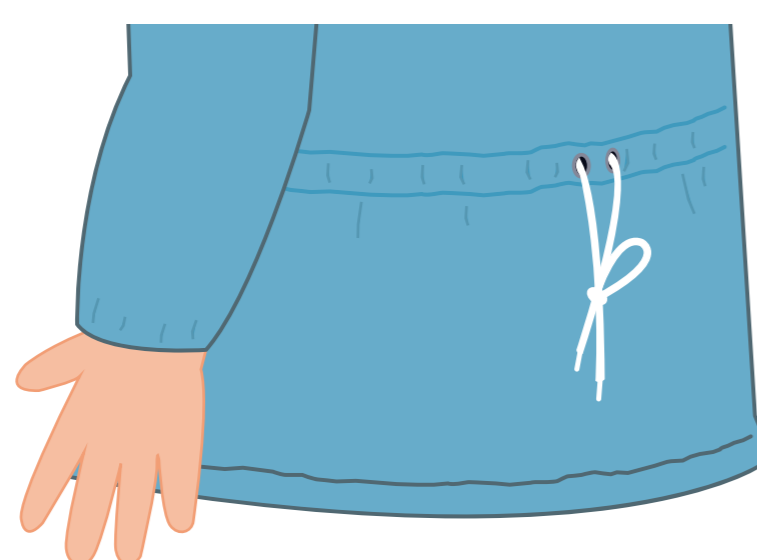
×



○

【背中のひも】

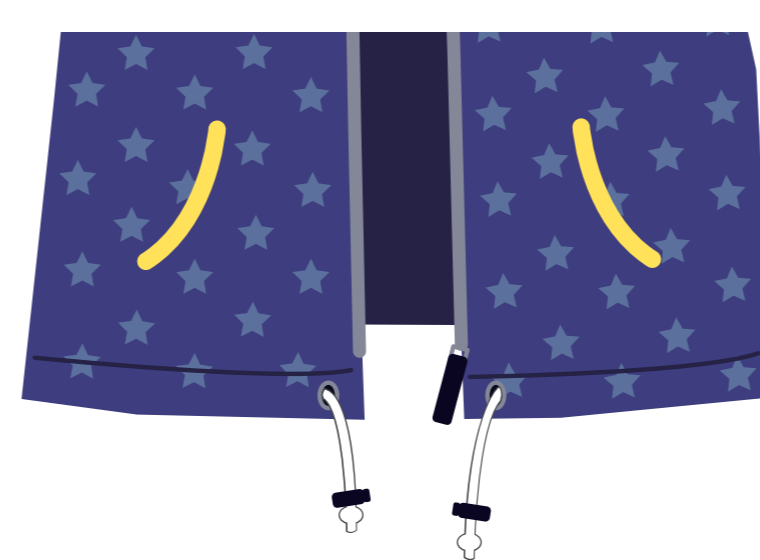
後ろから出たり、後ろで結ぶひもがあってはならない。（結びベルト又は帯は除く。）



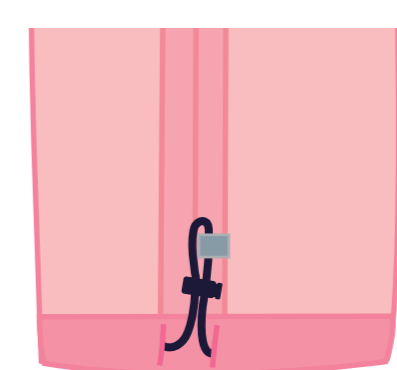
×

【すそのひも】

股から下にある衣料のすそに、垂れ下がったひもがあってはならない。（例：上着、ズボンのすそ）



×



○

（フードは適用外ですが、附属書に「子ども用衣料のフードの安全性」が示されています。）